



ゆり中だより

三田市立ゆりのき台中学校

令和4年12月5日 第9号

＝学校教育目標＝

「命」と「心」を大切に、「夢」を描き、輝かしい「未来」に向け前進する生徒の育成

3年ぶりのトライやる・ウィーク

事業所の皆様、5日間お世話になりました！

兵庫県では、阪神・淡路大震災から得た教訓や、命を大切にする心や思いやりの心、規範意識を養うなど「心の教育」の充実を図るため、県民の皆様の参画と共同による兵庫型「体験教育」等の体験活動を推進しています。中学校では、兵庫型「体験教育・キャリア教育」として1年時に、わくわくオーケストラ教室、2年時にトライやる・ウィークを実施していましたが、コロナの影響で2年間、従来の形である地域に出での活動ができませんでした。

しかしながらコロナ禍ではありましたが、事業所の皆様、地域の皆様のご理解ご支援で、今年度3年ぶりに、10月31日から5日間トライやる・ウィークを実施することができました。新型コロナウイルス感染症対策が続く中、本格実施の決定が今年度に入ってからとなり、2学期に入ってから事業所の決定、事業所の皆様との打ち合わせ、準備等、大変タイトなスケジュールとなりましたが、多くの皆様のご協力があり、生徒たちは活動を通して、達成感、自己有用感を高めることができました。事前と事後を比較して、生徒たちの顔つき、あいさつからも明らかに成長したことを実感しました。以下生徒の感想を掲載します。

◎体験を行って、感じたことや学んだこと

・郷の音ホールでは、本当にいろいろなことを学ばせてもらいました。忙しい中、時間を作ってたくさんの方を助けてくださったので、ありがたく感じています。表舞台に立つ人を支えてくれている方々の仕事は、普段見ることがないようなことだけど、働く大人はみんなカッコ良かったです。感謝の気持ちを忘れずにしたいと思います。

・働くことの大変さも楽しさも感じる事ができたし、進路の参考にもなりました。体験に行く前より、対応する力がついたんじゃないかなと思います。

・働くことの大変さを知りました。昔幼稚園に楽しく通っていたのは、先生が子ども達のために準備していたからで、おいしい食べ物食べられるのは、農家の方が毎日ていねいに作っておられるからだとわかりました。このトライやる・ウィークを通して責任感をも

って行動できるようになりました。また働いてくれている親や先生方にしっかり感謝しようと思いました。

・大人の仕事の大変さが分かったと思います。接客の仕方(あいさつ・お茶出し)やマスクがあってもハキハキ口を大きく開けて発音したり、学校にいただけでは学べないいろいろなことについて学ぶことができました。

・働くことって大変だと感じました。お店の方にもお客さんにも友達にも、どんな人でも「あいさつ」は大切だと学びました。大人の人と関わることは苦手だったけど、楽しいと思えるようになりました。笑顔であいさつするのが大切と学びました。

◎今後、自分がすべきことを1つ宣言してみよう。

・笑顔とあいさつと感謝を大切にします。

・自分で考えて行動する。

・働いている親が少しでも楽になれるように手伝う。

・コミュニケーションをとることはどの仕事も大事なことで、いろいろな人と人見知りせず会話をしていきたい。

・感謝の気持ちをしっかり伝える。

・自分のことにしっかりと責任を持つ。

2年生の皆さんにとってこの5日間の体験は、何ものにも代えがたいものだったと思います。社会に関わることの大切さ、厳しさ、楽しさから、自分の進路や生き方についてじっくり考えていってほしいです。65を数える多くの事業所の皆様、本当にありがとうございました。

三田市指定研究 2年間の研究成果を発表

ゆりのき台中学校では、昨年度より2年間、三田市教育委員会より指定研究を受け、研究テーマを「未来を創造し、心豊かに『生きる力』を育む『情報』教育～ICT機器の効果的な活用と教科等横断的カリキュラムマネジメント～」に設定し、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の情報活用能力の育成に向け、カリキュラム開発に向けた取り組みを進めてきました。

皆様ご承知のように、GIGAスクール構想により、タブレット端末(iPad)が1人1台支給され、高速大容量ネットワークの整備が本校においても完了し、学習アプリ「ミライシード」の導入により、双方向の授業が可能となりました。しかしながら、ICT機器を

≪ 12月の行事予定 ≫

日	曜	行事等	講師	給食
1	木	生徒会選挙立会演説会	子サ	1・2・3
2	金			1・2・3
3	土	人権を考える市民の集い(13:30~郷の音)		
4	日			
5	月	ノ一部活デー		1・2・3
6	火	専門委員会	SC SSW 子サ	1・2・3
7	水			1・2・3
8	木	PTA 執行委員会	子サ	1・2・3
9	金			1・2・3
10	土			
11	日			
12	月	ノ一部活デー がんばりタイム	子サ	1・2・3
13	火		SC 子サ	1・2・3
14	水	全校集会 命を考える日	SSW	1・2・3
15	木	個人懇談 安全点検日		1・2・3
16	金	↓		1・2・3
17	土			
18	日			
19	月	個人懇談 ノ一部活デー がんばりタイム	子サ	1・2・3
20	火	↓	SC	1・2・3
21	水	↓	SSW	1・2・3
22	木	学年集会 大掃除		1・2・3
23	金	終業式		
24	土	冬季休業日(～1/9)		
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木	年末年始休業日(～1/3) 学校閉庁		
30	金			
31	土	↓		

子サ：子どものサポーター SC：スクールカウンセラー
SSW：スクールソーシャルワーカー [最終下校] 17:00

≪ 1月の主な予定 ≫

10:3 学期始業式 11: 実力考査

17: 避難訓練 専門委員会

18: 1年わくわくオーケストラ教室 19: 全校集会

21: オープンスクール(弁当あり) 入学説明会 23: 代休

授業の中で有効活用するためにはどのように使っていけばよいのか、私たち教職員がまず使いこなし、有効な場面、やり方を知るため、教科等横断的に本校すべての教職員が研修を重ねてきました。

全教科で研究授業を行い、11月25日は、1年数学、2年道徳、3年理科で授業公開しました。大学の教授をはじめ教材開発に携わる方々より指導助言をいただき、ICT機器を使って教科を越え、教職員が一体となって生徒のより良い学びを研究した姿勢と成果にお褒めの言葉をいただきました。そして、今後の取り組みの方向として、「ICT機器はあくまで手段、大事なことは子どもたちの目標とする学びをどう支援し、達成させていくか」が大切であると示唆していただきました。この問いを教職員一同しっかり受け止め、今後も研修を重ねていきたいと思ひます。

この2年間の研究を土台にし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、ICTの新たな可能性を指導に生かすことで、授業改善につなげていく覚悟です。保護者の皆様のご理解ご支援をよろしくお祈いします。

人権教育講演会

心を守る5つのテクニック

11月18日、(株)CBTメンタルサポート代表取締役の岡村優希先生による人権教育講演会が、PTA主催で開催されました。保護者の皆様もご参加下さり、3年生はLIVEで、1、2年生は録画で視聴(2年生は12月9日予定)し、これからの自分自身との向き合い方、他者との関わり方等大変参考になる講演会でした。

公認心理士、臨床心理士、認定行動療法士の資格を持たれている岡村先生の話は大変新鮮で、①こころについて「知る」②こころの状態に「気づく」③こころのことを「話す」④こころの話を「聞く」⑤こころを軽くする方法を「試す」という心を守る5つのテクニックをわかりやすく丁寧に話してくださいました。3年生からは、たくさんの質問が出され、それに対してもわかりやすく丁寧に答えてくださいました。感想を見ている、自分を振り返り、「不安」や「悩み」について考え、前向きに生きていこうとする姿勢を感じました。いくつか紹介します。

・心の困りごとの原因は一つではなく、いろいろなことが重なり合っしてしんどくなってしまうから、しんどくなってしまう前に心を整理したり、話しやすい人に話すことで予防していきたいです。

・私は昔から人の目を気にしたり「どう思われるか」など、すぐに周りからの捉え方を気に掛けてしまうタイプだから、今日お話を聞いてそこまで深く考える必要はないのかなと感じました。自分が他

人の行動に対してそこまで何も感じていないのと一緒に、自分が思うよりも気にしなくていいし、自分が好きだと思うことに全力で取り組んでみようと思ひました。

・相手の話を聞くときは最後までしっかりと聞き、口出ししないことが大事だと思ひました。どれだけ相手の気持ちを考えていても、相手からすると否定されたような気持ちになってしまうのはどちらとしてもとても残念な結果になってしまうからです。自分と相手との会話は2つの考えがあって、1つの考えで押し切ってしまうのはよくないということを知りました。

・今日のお話を聞いて心が軽くなったし、対処法を知れば、辛くなってしまったときも、前向きにいれると思ひました。私は今まで、何か辛いことがあったときに、そのことを考えないようにして自分を落ち着かせていました。でも、その方法だとふとしたときに思い出して辛くなる時が良くありました。今日のお話を聞いて、自分がどういう考えをしているから辛くなるのかということを考えるだけで、別の視点から考えることができるし、そうならないようにこれからどうするのか前向きに考えていきたいと思ひます。

・私も「表に出るのが怖い、苦手」な人間なのですが、まずは「意識」から変えてみようと思ひます。心の健康を保つためにも、健康的な生活を送ろうと思ひました。不安に押しつぶされそうな時は、無理に不安を殺さず「パートナー」だと思ひ、共存していきたいです。～「精神科」だとか「カウンセリング」と聞くと、少し大事に考えていた自分がいましたが、もっと気軽に「自分を、考えを整えるための機関」だと思ひました。

・受験生ということもあり、自分だけではなく、周りのクラスメイトなど、たくさんの方が悩みを抱えていると思ひます。そういう時には、自分が相手の悩みを聞いたり、自分も信頼できる友人に相談し合える関係をつくるのが大切だと思ひました。

・感情のコントロールを上手く行い、生活をもっと楽しめるように、楽しいことがもっと見えるようになれば、そこから人生が変わると同じくらいの変化があると思ひます。それならば、自分の気持ちをないがしろにせず、自分軸を安定させることで、社会生活をより楽しんでいけるのではないかと、自分の可能性に気づくことができました。

12月のゆり中

学校評価のお願い

本日付文書で学校評価の「保護者アンケートのお願い」を出しております。本校では『命』と『心』を大切に、『夢』を描き、輝か

しい『未来』に向け前進する生徒の育成」を学校教育目標として、「コロナ禍」のなかではありますが、その実現に向けてPDCA(PLAN<計画>→DO<実行>→CHECK<評価>→ACTION<改善>)サイクルにもとづき組織的に学校教育を進めています。

生徒たちが誇りをもち、安心安全によりよい学校生活を送れるよう、保護者の皆様に評価をお願いし、その結果を今後の教育活動に活かしてまいりたく思ひます。つきましては、生徒たちの様子や学校の教育活動について感じられていることを、率直にお答えいただければ幸いです。なお、結果については、後日、学校だより等で報告いたします。

別紙案内文書にあります「QRコード」から入り、アンケートの返信をお願いいたします。

時節柄何かとご多用と存じますが、ご理解ご協力のほどよろしくお祈いいたします。

期末個人懇談 15日(木)～21日(水)

8月末から5か月におよぶ長かった2学期も残り少しくなっています。今学期の学習や生活を振り返り、今後の目標設定を行うため、個人懇談を3者(生徒、保護者、担任)で行います。2学期の個人懇談は全学年とも5日間の日程としています。3年生は進路を決定する懇談となります。ご多用のなかとは存じますが、お時間をつくらせていただき、ご来校をお願いします。ただ個人懇談は時間が限られています。進路決定が必要となる3年生はもちろんのこと、1・2年生の保護者の皆様の中にも、もう少し時間がほしいと感じられる方がいらっしゃるでしょう。今回の懇談だけでは時間が不十分という方、不安や疑問をお持ちの方など、遠慮なくご連絡ください。

12月の自動応答メッセージ

12月の「自動応答メッセージ」運用時間は以下のとおりです。この時間帯に、学校にお電話をいただいた場合、自動応答メッセージが流れ、通話をすることはできません。ご理解をお願いします。

<平日>17:00-翌朝7:45

<土日祝休日、学校閉庁(12月29日～1月3日)> 終日

※運用開始時間は、最終下校時間にあわせています。

なお、本校では昨年度3学期より、PTAのご支援のもと、欠席連絡等にメールサービス(ミマモルメ)を活用しています。土・日・祝休日も受付をしていますので、感染症や部活動の欠席等の連絡にもご利用いただけますようよろしくお祈いします。ミマモルメの連絡の受付は、欠席・遅刻日の前日17時00分から当日8時30分まで(休日は終日)となっておりますのでご注意ください。